



院長 林 進

より良い医療の 展開に向けて

いま、医療制度改革が始まり、改革の内容は医療の理念にそぐわない財政からの発想で医療費抑制策です。この状況下で自治体病院は一層厳しい局面を迎えますが、当院は住民のためにやらねばならない医療、民間ではどうしてもやれない部分を受け持っており、更に地域連携医療の推進を担っております。

当院は数年前からリニューアル計画を行ってきた、今、その実現に歩みだすところです。われわれは、どんな場合も、病院の理念と基本方針に則り、良質な医療の提供は医療に関わる人間の態勢にあると考え努力して行きます。

これからの医療をとりまく困難な状況をきり拓いて行くためには、住民の皆さんの御理解、御協力が大事なことを考えております。

どの医療・福祉関係者や公募での市民で構成する「市民懇談会（議長・佐藤祥男大館市北秋田郡医師会長）」を開催。この会での意見は、病院開設者である市長に報告されています。



平成13年7月、これらの検討を集約した『大館市立総合病院増改築事業基本方針』を決定し、事業の「基本理念」を次のとおり明確にしました。

- ① 「健康で明るく、うるおいのあるまちづくり」を担う、地域に開かれた基幹総合病院として質の高い医療を効率的に提供できる病院
- ② 患者さん中心で、患者さんが快適に治療に専念できるとともに

職員が働きやすい病院

- ③ 人口の高齢化、医学・医療の進展、社会情勢の変化等による医療需要の増大と高度化、多様化に対応できる病院
- ④ 医療・保健・福祉との連携がとれた総合的な医療サービスが提供できる病院

⑤ 市立総合病院としての基本的な役割を十分に発揮し、医療資源の効率的な運用を図り、健全経営の確保に務める病院

この基本方針により、設計者を選定する「設計プロポーザル・コンペ」を実施、第1段階書類審査には14者が応募しました。設計者審査委員会（審査委員長・渡邊定夫東京大学名誉教授）の書類審査の結果6者が残り、本年1月の最

終審査では(株)岡田新一設計事務所を最優秀に決定しました。

市民の皆さんの 「理解とご協力」を

市立総合病院リニューアルは大館の医療を決定する大事業です。このため、設計・工事など今後も作業を慎重に進める予定です。この事業の詳細については、そのつど市民の皆さんにお知らせします。「新しい市立総合病院」を一緒に創るため、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

市立総合病院リニューアルについてのお問い合わせは

市立総合病院・企画課
☎42 5370（内線650）

市民の声



伊藤 義 弥 さん
(天下町)

昨年の冬、2カ月間市立総合病院に入院しました。お医者さんはもちろん看護師さんも親切で、お陰で元気に退院することができました。

しかし、夜間の病室は寒く、大部屋であったため狭くてプライバシーがなかなか保てない状況でした。また、お風呂が狭いなど、施設設備がこの時代に合っていないと感じました。

リニューアルの動きがあることを聞き、大いに期待しています。重い病気になった時は、市立総合病院が頼りですから…。